

令和元年度第2回加西市総合教育会議 会議録

1 開会日時 令和元年10月21日(月) 15時30分

2 閉会日時 同日 16時40分

3 開催場所 加西市役所1階 多目的ホール

4 出席委員 市長 西村 和平
教育長 兼 松 儀 郎
教育長職務代理者 沼澤 郁美
委員 楠田 初美
委員 中川 和之
委員 深田 英世

5 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

ふるさと創造部長	千石 剛
ふるさと創造部 人口増政策課長	藤後 靖
ふるさと創造部 人口増政策課主任	岩野 裕之
教育委員会教育部長	本玉 義人
教育委員会 教育総務課長	今西 利夫
教育委員会 学校教育課長	安富 重則
教育委員会 こども未来課長	伊藤 勝
教育委員会 生涯学習課長	森 幸三
教育委員会 図書館長	菅野 広美
教育委員会 総合教育センター所長	常峰 修一
教育委員会 学校教育課主幹	井上 英文
教育委員会 こども未来課主幹	周 夕美
教育委員会 生涯学習課主幹	永井 信弘

6 傍聴者 一般：5名、報道機関：なし

7 協議事項

- (1) 令和2年度予算について
- (2) 学校給食費の公会計化について
- (3) その他

8 会議内容

別紙のとおり

【別紙】

1 開会

2 市長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 協議事項

(1) 令和2年度予算について 事務局より説明

〔意見・質疑〕

市長 学校施設の耐震化対策は完了したが、老朽化対策は総事業費が出ているのか。老朽化した学校から順次対応していくという発想ではなくて、統廃合問題を含めた総合的な視点をもって、検討していかなければならない。統廃合問題の結論は早く得ないといけないと思うが、まず総事業費がどれくらいかかるのかということを示してもらって、その費用をもとに統廃合問題の議論をしていかないといけない。

市長 学力向上プロジェクトについて再度説明してほしい。

事務局 全国学力・学習調査をもとに子どもたちの学力の向上を図ることを目的とし、スクールサポーター事業等も含めた一体的な事業である。

市長 子どもの学力向上は重要であるため、有効なことを是非やって欲しい。可能であれば、毎年度トピックになるような事業をやってほしいと思う。

市長 学校図書費について、今までは全校同額で配分していたが文部科学省の定める学校図書標準の達成状況を鑑みて配分するということか。また、どのくらいの期間で全校が基準を達成できるのか。

事務局 学校図書費の配分額は児童生徒数に応じて傾斜配分したいと考えている。基準達成時期については、北条小学校や北条中学校等の児童生徒数が多い学校は厳しい状況にあり、短期間での達成は難しいため、数年間かけて基準を達成できるよう考えている。

市長 大事なことであるので、数年間かけての計画と思わずに、短期間で達成するための必要な方法を検討してほしい。

また、外国語教育について、早期からALTの導入や中高コラボレーション事業等を行ってきたが、一定の効果が表れていると思う。今後も子どもたちにより良い環境を作ってあげられるよう、前例にとらわれず、よく議論したうえで、思い切った事業を実施してほしい。

学童保育施設について、学校の空き教室で対応はできないのか。補助金が出る事

業ではあるが、空き教室の活用も検討しないといけない。

事務局 昨年度も同様の指摘をいただき、1年間学校側と協議を行ってきたが、やはり九会小学校の教室が学童保育で2部屋減るということは難しいとのことであった。

市長 学童保育における西在田小学校の改修はどの程度のものか。

事務局 西在田小学校は学童保育施設を新たに建てず、幼稚園を使用しているため、幼稚園の園児用に使用されているトイレの改修だけを行う。

市長 図書館について、もっと利用者が増えるよう問題意識を持って運営して欲しい。総合教育センターの建物について、下水道管の全面取替え等改修工事を行う場合、相当な費用がかかるのではないか。

事務局 例えば植え込み等によって雨水が混入しているところが特定しにくい状況のため現場調査を行う必要があり、現段階では正確な試算が難しい状況である。

委員 この資料に掲載されている令和2年度の予算案は、全て令和2年度に実施する予定であるのか。

事務局 基本的にこの資料に掲載している項目に関しては全て予算要求する。ただ、例えば学校施設の工事関係等は単年度で全て改修が出来るものではないので、計画的に実施していくこととなる。

委員 事業実施の優先順としては、建物の改修よりも手厚い教育や学童保育の環境改善等を通じた子どもに関することを一番として検討してほしい。

小学校の外国語教育については、音楽や楽しいコミュニケーション等を活用して子どもが学習に躓かないような雰囲気作りを大切にしてほしい。

オークタウンは30年以上も経ってだいぶ老朽化しているが、キャンプ場の改修はどのように考えているか。トイレもだいぶ古くなっている。

事務局 オークタウンのキャンプ場について、来年度すぐには難しいが計画的に改修したいと考えている。トイレは現在和式のトイレがあるが、市内施設全般のトイレ洋式化改修計画に入っているため、来年度あたりには改修できると思う。

委員 小中連携について説明してほしい。

事務局 子どもの進学における小学校から中学校までの接続を子ども同士の交流や生徒指導、学習指導を通じて、どれだけスムーズに連携出来るかというものになります。

委員 学校の統廃合について、小野市や三木市は既に進めていると思うが、どのような状況なのか。

事務局 現在、三木市については統廃合を進める方向で検討を行っていて、小野市は小・中学校をそのまま残した上で小中一貫校として進めていく方針である。また、加東市は計画的に施設を建設し、3年計画で進めているという状況である。

委員 加西市においてもいずれは対応していかないといけない状況となっていると思う。

委員 教育予算についてできる限り計上していただければと思う。細かいところで

は、今年、小学校の運動会が雨のためグラウンドの状態が非常に悪く、学校によってもだいぶ差があり、また、運動場の放送機器が老朽化していた。

給食センターについて、昨今の子どものアレルギー状況がひどく、万全を期した安全対策をお願いしたい。

学校教育については、A I 等の I C T 技術の導入が進んでいるが、そのような技術に使われるのではなく、使いこなせる子どもたちを育てる上での教職員研修も含めてお願いしたい。

委員 学校訪問をしていて、学校によっては天気が悪い日など暗く感じる学校がある。子どもたちの視力のことも考えて早々に照明の L E D 化に移行していただきたい。また、授業支援の必要な子どもがどの学校でも 2 割を越えている状況であるため、教職員がより良い環境で授業を進めていくには、補助となるスクールサポーターの充実が重要である。県補助のスクールサポーターも配置されているが、加西市では平成 30 年度から学校応援団事業で独自にサポーター事業を進めている。平成 30 年度は年間 97 時間で令和元年は 200 時間と聞いているが、200 時間ということは月に 16.7 時間になり、全学校で月に 1 時間という状況である。授業をスムーズに出来るような環境づくりのため、手厚くしていただきたい。

委員 教職員のメンタルヘルスチェックについて、私の会社ではシステム化して実施し、その後、産業医がフォローアップを行うなど、出来るだけ社員のストレスを減らすよう実施しているが、教育委員会ではどのようなチェックを行っているのか。教職員の残業時間を減らすことも大事だが、ストレスによって休んでいる教職員もいるため、是非全員チェックを受けてほしい。

事務局 メンタルヘルスチェックによる結果数値によって産業医に繋ぐということは法制化されている。また、県からも必ず全員が受けるよう通知されており、実施している。

(2) 学校給食費の公会計化について

事務局より説明

〔意見・質疑〕

市長 教育委員会である程度方向性を検討しているのか。公会計化は基本的に 2 年かけてやろうということか。

事務局 まだ事前段階で、公会計化を進めても 2 年間程度かかるというスケジュールになるということである。

市長 しっかりと検討してもらいたいが、文部科学省も通知を出しており、会計の透明化というのは大事なことであるため進めたらいいと思う。その際、教育委員

会に人員を配置する場合はしっかりと予算要求を行ってほしい。徴収率 100%という状況は個人が努力しながらやっていると思うが、個人に頼って無理をしながら続けていくことはだめだと思う。公会計化が教職員の働き方改革に繋がるのであればより良いと思う。

委員 学校に勤めていた頃、給食費を集めるのは学校の仕事だという認識はあったが、学校では 100%の徴収率で集めることが困難であったため、恐縮ながら P T A をお願いしてきた経緯がある。現在の方法は加西市ほぼ独自の方法であるが、公会計化を進めていくということは非常に前向きなことだと思う。

委員 兵庫県下で公会計化を進めている自治体はあるのですか。

事務局 公会計化に切り替えている市は 29 市のうち半数強程度あり、今回ガイドラインが通知されたことによって、今後検討を始めていこうとする市が増えてくると予想される。中には、今まで通りのやり方で続ける市もあるようだが、基本的には公会計化という流れになっている。

委員 P T A や教職員の負担が少なくなるのであれば実施できればと思う。例えば公会計化に切り替えた場合の徴収率や残業時間などの効果についてデータは出ているのか。

事務局 29 市が集まる給食担当者会議等で各市の状況をお聞きしているが、時間的な部分でどの程度軽減されたかというデータは今のところ聞いていない。また、徴収率に関しては 90%台が殆どのようなようである。

委員 100%は厳しいかもしれない。

事務局 どうしても口座振替という方法に変える以上、例えば残高不足等で引き落としが出来ず、その後、文書等で納入通知を送付したとしても放置されてしまうケースがあるのだと思う。

委員 P T A の負担になっているため、未納者への対策等が出来るのであれば、実現されたらいいと思うが、根拠がないとなかなか各家庭も納得してくれないと思う。根拠があって P T A に対しても教職員に対しても負担軽減できれば画期的だと思うので、根拠となるデータを見ながら方向性を決めたら良いと思う。

委員 私は以前、学校給食の徴収に合わせて婦人会の徴収も行っていたことがあるが、随分前に婦人会の徴収が無くなって非常に楽になった。小・中学校の両方で役員をされる方もいるので、それはとても大変なことだと思う。もし、滞納となった場合、市の債権を担当する課があるのか。

事務局 加西市では市の債権を担当する課というものは無く、公会計化という流れになれば、教育委員会の教育総務課の職員が集金に回るという形にならざるを得ないと思う。

委員 今まで給食費の回収は無かったのか。

事務局 今までは P T A で全額徴収いただいていたため無かった。

委員 文部科学省が推奨している「学校及び教師が担う業務の明確化と適正化」の

中に「基本的には学校以外が担うべき業務」として給食費の徴収が明確に明記されているため、その方向に向かって進めていくべきだろうと思う。

(3) その他

市長 マニフェストにも掲げていたが、学校のあり方の検討を始めたいという旨を申し上げていた。その後、教育委員会の検討状況もお聞きし、大胆な検討もされているということも分かったので、結論は別として検討を開始したということが分かるよう、市民に向けてお知らせしていきたいと思う。それについては、企画部門と私が相談しながら、教育委員会と一緒に内部の検討をしっかりと行い、そして市民の皆さんにも検討に加わっていただくように順次進めたいと思う。

5 閉会